

運転免許返納の相談うまくいっていますか？

高齢ドライバー



- 免許返納の相談、困った！？
- 返納以外の選択肢は？
- 「限定免許」をご存知ですか？
- 免許返納後の生活支援は？
- 納得ではなく説得になっていませんか？
- 多職種連携が取れていますか？
- 先駆的成功事例を知りたいですか？



日時 令和4年 **9月 18日** (日) **13:00~15:00**

会費 **無料**

対象

地域包括支援センター、社会福祉協議会などに勤務する福祉専門職

「高齢ドライバー問題最前線」 ZOOM講演会

高齢ドライバー問題研究の第一人者である所正文氏に、高齢ドライバー問題最前線と、運転免許の返納を受け入れがたい高齢者やその家族に対する免許返納後の具体的移動手段の検討、生活支援の方法、心理面への影響などを考慮しながら福祉専門職がどのように対処すべきか、について講演していただきます。また、全国にさきがけ、免許返納サポートシステムを構築し、高齢ドライバー免許返納に取り組む、「滋賀システム」をご紹介します。是非ご参加ください。

講師：所正文

立正大学心理学部教授, Ph.D

日本を代表する「高齢ドライバー問題」の研究者。論文、著書、報道番組出演多数。著書：高齢ドライバー問題への政策提言－医療・運転・福祉の多職種連携（学文社）など



スケジュール

13:00- 14:00 高齢ドライバー問題最前線
14:00- 14:20 事例紹介－滋賀システム－
14:30- 15:00 質疑応答

※スケジュールやプログラムは、当日の進行状況により多少変更される場合がございますこと予めご了承願います。

主催：NPO法人 コシコシの会

後援：厚木市社会福祉協議会
相模原市社会福祉協議会



〒243-0032 神奈川県厚木市恩名1-6-56-107
代表 谷口幸一 Ph.D tel.fax 046-294-5570
（社）神奈川県臨床心理士会前会長、（社）日本臨床心理士会代議員

申し込み方法

現在、高齢男性ドライバー約450万人、高齢女性ドライバー約300万人。今後更に急激に増加するといわれる、高齢女性ドライバー。加齢に伴い運転適性問題は必ず起こり、やがて直面する「免許返納」の問題。他方、性別に関わらず、地方に行くほど車は生活の必需品。車が進化しても、防ぎきれない高齢ドライバーの交通事故。免許更新はできたけれど、事故を起こさないかと心配する家族。車は生きがいそのものと、頑なに返納を拒む老親。

個人差、地域差が大きい問題に対し、福祉現場の方々も、どう支援したらよいか、免許返納後の生活支援も含め、大変苦勞しているという声を多くききます。

今回は、高齢ドライバー問題研究の第一線で活躍されている所氏の講演会をお届けするとともに、質疑応答の時間ももうけました。皆さまにとって、有意義な学びと新たな気づきの機会となりますと幸いです。是非、周囲の方々にもお声かけいただき、お気軽にご参加下さい。

申し込みは、FAXまたははE-mailにて受け付けております。 **コシコシの会事務局 谷口宛**

申し込み確認後1週間以内に、受付完了のメールを差し上げます。☒E-mail rsw10135@nifty.com

講演会申込書

9/16(金) 締め切り

(1) 勤務先名 :

(2) 参加者氏名 :

(3) FAX番号 :

(4) E-mail :

(5) 資格 :

(6) 現在、高齢ドライバー問題で困っていることや、ご質問があればご記入ください。